

氏名	服部 園美(はっとり そのみ)
職名	准教授
専門分野	高齢者看護学
学歴	和歌山県立医科大学大学院医学研究科博士課程満期退学
学位	修士(医科学)和歌山県立医科大学
担当科目	(学部)教養セミナー、リハビリテーション看護論、終末期看護論、慢性期看護論Ⅱ、高齢者の健康、看護研究Ⅱ、保健看護管理演習、早期体験実習、保健看護学実習C、統合実習Ⅱ (大学院)高齢者看護学特論
研究テーマ	1. 中高齢者の高次脳機能に関連する要因と認知機能低下予防に関する縦断的研究 2. 中年者の高次脳機能に関連する要因と認知機能低下への予防的ストレージの構築 3. 抑うつおよび認知機能低下を予防するプログラムの有用性の検討 4. 高齢者のイメージに対する研究
所属学会	日本看護協会、日本老年看護学会、日本医学看護学教育学会、日本看護科学学会、日本看護研究学会、日本公衆衛生学会、日本衛生学会、和歌山医学会、近畿学校保健学会、和歌山県立医科大学保健看護学会
研究業績	<p><論文></p> <ol style="list-style-type: none"> 服部園美:A県における医療・保健・福祉専門職者による家庭内高齢者虐待の経験および認識. 和歌山県立医科大学保健看護学会誌, 1, 23-32, 2010. 服部園美:中学生が持つ「高齢者イメージ」. 和歌山県立医科大学保健看護学部紀要, 5, 27-31, 2009. 服部園美:看護学会参加による保健看護管理実習の学習効果. 第39回日本看護学会論文集—看護教育—, 397-399, 2008. 服部園美:新人看護師のインシデント経験と感情の変化. 日本看護学会論文集—看護管理—, 37, 91-93, 2007. 服部園美:和歌山県下の看護職員のメンタルヘルスに関する実態調査. 日本看護学会論文集—精神看護—, 35, 80-82, 2004. <p>他25編</p>
メッセージ	<p><活動の紹介></p> <p>高齢者の認知機能低下や抑うつを予防させるための研修や講演を実施している地域で介護予防教室の支援をおこなっている</p> <p><学生へのメッセージ></p> <p>近年は、高齢化率の高さや認知症高齢者の急増、団塊の世代が75歳の後期高齢者になる2025年問題がささやかれ、老年看護学の担う役割は大きくなっています。しかし、学生は高齢者と一緒に暮らす生活経験や日常の中で接触する体験が少ないため、高齢者をイメージすることが難しくなっています。高齢者の虚弱や寝たきり、認知症など衰退減少に注目してネガティブにとらえ、残されている能力や可能性、長い人生経験からの知性や偉大さ、ポジティブなパワーという面に視点が向かない傾向があります。「老いること」を理解し、高齢者の生活に視点を当て、保健・医療・福祉を包括的にとらえた学習、ポジティブな老年観を育めるような学習環境を強化していきたいと考えています。</p>
メールアドレス	sonomi@wakayama-med.ac.jp